



けや中だより

第6号

令和8年8月28日(金)
三田市立けやき台中学校

2学期始業式 ～命の尊さ・平和への誓いを胸に、大きく飛躍する2学期へ～

大きな事故もなく、こうして元気に皆さんと再会できたことを大変嬉しく思います。1学期の終業式で、私は「この夏休みを自分にとって有意義なものにしましょう」と皆さんに呼びかけました。皆さん、この夏休みはどうだったでしょうか。目標に向かってやり切ることができたでしょうか。

振り返ると、この夏も皆さんの輝かしい活躍がありました。夏休みに入ってすぐに行われた県総合体育大会には、本校から男子ソフトテニス部、陸上競技部、柔道部が出場し、持てる力を存分に発揮してたいへんよく健闘しました。

特に男子ソフトテニス部は、団体戦において強豪校を相手に堂々とした戦いぶりで勝ち進み、見事に準優勝を果たしました。近畿総体への出場という快挙を成し遂げ、その近畿の舞台でも本校の代表として誇らしく、素晴らしい試合を見せてくれました。日頃の厳しい練習の成果を結実させた選手みなさんに、心から拍手を送ります。



一方で、この夏休み中には心を痛める大きな出来事もありました。7月24日、熊本県で大きな地震が発生しました。尊い命が奪われ、大切な自宅が倒壊し、今なお多くの方々が避難所での不自由な生活を余儀なくされています。被害に遭われた方々に深くお見舞いを申し上げます。

今回の震災では、イオンモール熊本において避難完了後に建物へ戻られた方が、爆発事故に巻き込まれて命を落とされるという痛ましい出来事もありました。私たちはこの事実から、学校で行っている避難訓練の重要性、そして「一度避難したら絶対に建物に戻らない」という避難行動の鉄則の大切さを改めて強く痛感させられました。自分の命、そして大切な人の命を守るための行動について、今一度真剣に考えてほしいと思います。

また、8月6日の「広島原爆の日」、8月9日の「長崎原爆の日」には、それぞれの式典で市長による平和宣言が読み上げられ、広島では子ども代表による「平和への誓い」が力強く述べられました。広島の平和宣言の中で市長は、これからの未来を担う若い世代に向けて、「価値観の異なる人々との国境を越えた交流を深め、嬉しさや希望を共有してほしい」と呼びかけられました。自分とは違う考え方や文化を持つ人々と理解し合い、思いやりの心を育むことこそが、平和な世界を築く第一歩であるということです。戦争の記憶を風化させず、平和な未来を自分たちの手で創っていく決意を示す姿は、同世代である皆さんにとっても強く心に響いたはずです。今こうして当たり前のように学校に通い、仲間とともに学べる環境がどれほどかけがえのないものか、平和の尊さを改めて噛み締めましょう。

今日から始まる2学期には、体育大会や学習発表会をはじめ、本校の大きな節目となる創立40周年記念式典、そしてわくわくオーケストラ教室や地域で学ぶトライやる・ウィークなど、数多くの学校行事や学年行事が予定されています。行事を通して仲間と力を合わせ、互いを高め合いながら、大きな成果を作り上げていきましょう。

部活動での努力、防災への意識、そして平和への想い。この夏に感じたことや学んだことを糧にして、気持ちを新たに一人ひとりが目標に向かって歩みを進めていきましょう。

広島平和記念式典 こども代表による「平和への誓い」

もしも「大切なもの」が一瞬で消えてしまったら、どんな気持ちになるのでしょうか。

私たちが笑いあっているときにも、尊い命が失われている現状があります。

今もどこかで、当たり前の日常がうばわれています。

ぼろぼろになった制服。

黒く焦げたお弁当箱。

それは、当たり前の毎日を生きていた証です。

昭和 20 年（1945 年）8 月 6 日、午前 8 時 15 分。

たった一発の原子爆弾が、人々の暮らしを、人生を地獄に変えました。

髪は焼けちぢれ、全身の火ぶくれが破れ、火傷した皮膚が垂れ下がった人々。

「痛いよ。苦しいよ。」

「助けて、お母さん。」

「死にたくない。」

「助けてあげられなくてごめん。」

死んでしまうつらさ、生き続ける苦しみは、想像することさえ恐ろしいことです。

私たちには、被爆体験を直接聴くことができる最後の世代として、当時の記憶を事実として受け止める使命があります。

目をそらさず、知ろうとすること。

悲しい現実でも向き合うこと。

そこには、「生きたかった人々」、「生き続けた人々」の思いがあります。

私たちには、広島のコどもとして、行動する責任があります。

相手の気持ちを想像し、意見の違いがあっても認め、受け止めること。

平和への思いを、自分なりの方法で表現すること。

一人一人の小さな行動が、平和への後押しとなります。

平和とは、誰かからあたえられるものでなく、世界中の人々で創り上げるものです。

こどもである私たちも、その一員として平和への一歩を踏み出します。

かけがえのない「大切なもの」を、確かな希望を、未来へ届けるために。

令和 8 年（2026 年）8 月 6 日

こども代表

広島市立高須小学校 6 年 柿崎 由宇

広島市立高南小学校 6 年 河野 和希

（神戸新聞 2026 年 8 月 7 日朝刊より引用）

【2 学期の主な学校行事】

10/8(木)1 年わくわくオーケストラ教室 10/15(木)体育大会 10/16(金)学習発表会

10/26(月)～30(金)2 年トライやる・ウィーク 11/6(金)創立 40 周年記念式典

12/4(金)生徒会選挙 12/24(木)終業式

浄水器の設置について

けや中では生徒のみなさんの要望に応え、昨年度から各階の手洗い場などに浄水器を設置しています。

写真のように白いフィルタを通すときれいな水が出ますので利用してください。



学校ホームページについて

生徒の活動の様子(県・近畿総体等)、学校からのお知らせ、進路情報、部活動の地域展開等を保護者の皆様や地域の方々に積極的に発信しています。右記の QR コードより、けやき台中学校ホームページをご覧ください。

